

新年を迎えて

J Aしずない女性部 部長 曾我 順子



令和7年、明けましておめでとうございませう。

昨年は2月に主人がインフルエンザで入院し、続いて義父が入院、退院と目まぐるしい日々を経験し、主人のいない日々は多くの方々のご協力をいただき、なんとか乗り切ることが出来ました。ありがとうございます。

そんな中、義父がインフルエンザこそよくなったものの、高齢のために亡くなりました。私をいつも励まし、褒め、女性部の部長の話が来た時には最初に「やってみれ。お前ならできる。」と言ってくれた人でした。実家の父より長く一緒にいた義父ですし、私には本当の父のようでした。そして義

父自身も困難なことにも最後まであきらめないという後姿を私に示してくれた人でした。みんなを明るくさせるおちゃめユーモアがあり、人に優しい人でした。私もそういう人になりたいと思う今日この頃です。

また夏には、自治会の婦人部の仲間がガンの長い治療中に56歳で亡くなりました。心にポツカリ穴が空いた気持ちで過ごしていましたが、その方のご主人が「悲しんでないで、前を向いて歩くのが亡くなったものは安心する。」という言葉を聞き、ご主人は、もつと悲しいのに周りの人を気遣う気持ちを貰い、私ももつとしっかりしなければと立ち直ることが出来ました。

12月にはJ A女性部の日胆研修会が洞爺湖町で行われ、ヴァイオリンの演奏や、米袋を使ったバッグ作成など楽しい時間があったという間に終了しました。

最後に、今年もいろいろなことがあるかと思いますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年始の挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

J Aしずない青年部 部長 小久江 正樹



新年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は国内外の情勢の影響もあり、急激な物価上昇となりましたが、賃金の上昇はそれに追いつかず、苦しい状況となっております。

また近年は地球温暖化の影響もあり、集中豪雨や夏の猛暑等で全国的にも従来通りに作物を生産することが難しくなってきました。

このような状況下においても、より良い営農が出来るようにと、昨年からの引き続いてJ Aびらとり青年部と共に合同勉強会を催し、意見、情報交換が出来ました。作っている作物は違いますが、部員

の糧になったかと思えます。今後も地域の垣根を越えて、お互いに切磋琢磨出来るような活動が続くことを願います。

私自身、昨年菊地前部長から青年部部長という大役を任せられ、不安に感じる部分が多かったのですが、管内2小学校、保育所を訪問した食育出前授業、J Aしずないの一大イベント「しずない農業まつり」、当青年部と新ひだか町教育委員会との共催イベントである「ハロウィン」日胆青年部協議会主催である大学生の農作業体験への協力など、青年部員並びに各関係機関の皆様のご尽力のお陰で素晴らしいものとなりました。

青年部長をやってみて思ったことは、一人では出来ないことも仲間が集まれば出来るということだと思います。私はこれからも自分のためだけでなく、お世話になっている仲間のため、そして地域のために努力していきたいと思っています。

最後に、J A組合員の皆様をはじめ、各関係機関の方々のご多幸をお祈り致しますと共に、本年もご厚誼の程、よろしくお願い申し上げます。